



震災復興支援にむけてのプラネックスとの協業
プラネックスルータと「Wi2 300」3ヶ月IDのパッケージ提供

2011年7月1日

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに心よりのお見舞いを申し上げます。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都港区、代表取締役社長：高津智仁、以下Wi2）は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：武田知之、以下プラネックス）と共同で、東日本震災復興支援に向けての取り組みとして「Wi2 300」サービスを3ヶ月間ご利用可能な3ヶ月IDを提供いたします。

「Wi2 300」は、Wi2が提供するWi-Fi（公衆無線LAN）サービスで、ノートPC、スマートフォン、タブレット型端末などのWi-Fi対応デバイスで簡単接続が可能です。丸の内ビルなどの商業施設、横浜ベイエリア、成田空港・羽田空港発着のリムジンバス、空港、JR主要駅などの自社エリアに加え、ローミングエリア（BBモバイルポイント、ライブドア・ワイヤレス）など全国約13,000ヶ所以上のWi-Fiスポットで利用できます。

プラネックスとWi2は、東日本震災復興支援施策として、無線LANマルチポケットルータ「MZK-MF300N-JC」と「Wi2 300」の3ヶ月IDをパッケージ化した製品（定価：3,000円）を共同で7月上旬より提供開始いたします。プラネックスのルータと同梱されている「Wi2 300」3ヶ月IDにより、ルータを購入されたお客様はご自宅でのWi-Fi接続に加え、外出先でも「Wi2 300」の約13,000ヶ所以上のWi-Fiスポットでインターネットをご利用になることが可能になります。「Wi2 300」の3ヶ月IDは、Web上での簡単な手続きにより、ユーザの任意のID及びパスワードが設定でき、また各種の簡単接続ツール「Wi2 Connect」もご利用可能です。

スマートフォンやタブレットPCを筆頭としたWi-Fiによるインターネット接続可能な情報端末の急激な普及により、Wi-Fiの需要は急拡大しています。Wi2は、多くのユーザに便利にご利用いただくため、関連製品とのパッケージ化やプリペイド型サービスなどを展開していきます。

Wi2は、Wi-Fiが利用できる環境を拡大し、ユーザの新たな利用シーンを創出していきます。そして、人々のライフスタイルにWi-Fiなどの無線ブロードバンドがさらに広く普及することに注力してまいります。